

## 奥山ボーリング社 ベトナムにおける斜面災害予防に向けて 秋田県では初！ JICA 案件化調査を開始

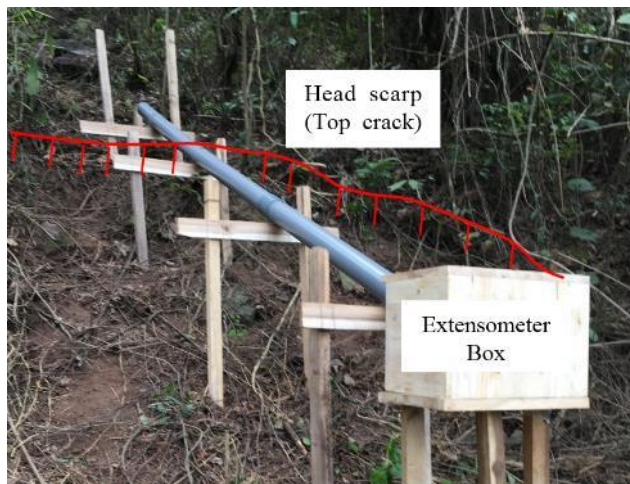
国際協力機構(JICA)は、「2019年度第1回中小企業・SDGs ビジネス支援事業 案件化調査(中小企業支援型)」において、奥山ボーリング株式会社(秋田県横手市、奥山信吾代表取締役社長)、株式会社オサシ・テクノス(高知県高知市、矢野真妃取締役社長)による共同企業体が提案する「ベトナム国斜面災害予防ソリューションに関する案件化調査」を採択しました。この度、提案企業と JICA との間で業務委託契約を締結、2020年2月から案件化調査が開始されます。

ベトナムでは、山岳道路や農村集落で斜面災害が多発しており、過去3年間で死者が数百人にも達しています。同国政府は、2016年~2020年における自然災害防災への投資計画を決議したものの、技術的・経済的な制約により、効果的な斜面災害予防対策の実施が困難な状況です。

上記課題に対して、提案企業から①斜面診断、②早期警戒システム、③応急対策の3要素で構成されている斜面災害予防対策として「斜面災害予防ソリューション」を提案いただきました。提案企業である奥山ボーリング(株)は、ベトナムでの8年間に渡る調査経験を通じて斜面災害の危険度を、高精度、低コスト、短時間で診断する技術・ノウハウを有しています。また、(株)オサシ・テクノスは、斜面の早期警戒システムの分野における国内のリーディングカンパニーであり、最適な観測計器を提供することが可能です。「斜面災害予防ソリューション」により、ベトナムにおける斜面災害被害の軽減、事後対策に比較した経費の軽減、予防対策技術の移転による防災技術の向上を目指します。案件化調査では、現地調査等を通じて、自社の技術をどのように活用することで現地の課題が解決するかを検討し、ビジネスモデル案の策定を行います。



ベトナムの地すべり地における斜面診断



早期警戒システムのための地盤変動の観測

本事業は、「案件化調査（中小企業支援型）」として実施されます。「案件化調査」は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたものです。2012 年度から実施されており、2019 年度第 1 回分は 2019 年 4 月に公示を行い、100 件が採択されました。採択案件については、提案企業と弊機構との間で契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

【参考】（プレスリリース）案件化調査 2019 年度第 1 回公示の採択結果について

URL : [https://www.jica.go.jp/press/2019/20190823\\_10.html](https://www.jica.go.jp/press/2019/20190823_10.html)

<b>【本件に関する問い合わせ先】</b>	みちのくから世界へ！
JICA 東北 市民参加協力課 担当：上野 TEL:022-223-4772 FAX:022-227-3090 Mail: Uwano.Midori@jica.go.jp	JICA 東北ウェブサイト <a href="https://www.jica.go.jp/tohoku/">https://www.jica.go.jp/tohoku/</a>